



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月11日

上場会社名 京浜急行電鉄株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9006 URL <https://www.keikyu.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 原田 一之
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 秋山 進一 (TEL) 045-225-9390
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け/電話会議のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	103,014	△37.7	△12,941	—	△13,726	—	△18,299	—
2020年3月期第2四半期	165,241	9.4	21,708	12.9	20,395	13.3	13,751	11.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △18,869百万円(— %) 2020年3月期第2四半期 12,837百万円(△19.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△66.46	—
2020年3月期第2四半期	49.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	908,349	246,401	27.0
2020年3月期	888,412	267,655	30.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 245,522百万円 2020年3月期 266,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	241,500	△22.8	△18,300	—	△21,000	—	△23,000	—	△83.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	275,760,547株	2020年3月期	275,760,547株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	489,009株	2020年3月期	374,623株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	275,328,731株	2020年3月期2Q	275,387,559株

(注) 自己株式に含めている役員報酬信託口が保有する当社株式数は、以下のとおりです。

2021年3月期第2四半期 113,100株 2020年3月期 一株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手について)

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載するとともに、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)におけるわが国経済は、個人消費等の持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響によって景気が依然厳しい状況で推移しました。

当社グループの事業は、外出の自粛等により、交通事業およびレジャー・サービス事業を中心に甚大な影響を受けました。このような厳しい事業環境のなか、当社グループは、すべての事業において、お客さまと従業員の感染防止対策を行いつつ、安全・安心の徹底を図り、サービスの提供の維持に努めました。

以上の結果、営業収益は1,030億1千4百万円(前年同期比37.7%減)、営業損失は129億4千1百万円(前年同期は営業利益217億8百万円)、経常損失は137億2千6百万円(前年同期は経常利益203億9千5百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は182億9千9百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益137億5千1百万円)となりました。

次に、セグメント別の業績についてご報告いたします。

交通事業

鉄道事業およびバス事業では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出の自粛や航空旅客の減少等の影響を受け、輸送人員が大幅に減少したことなどにより減収となりました。

以上の結果、営業収益は372億5千万円(前年同期比41.8%減)、営業損失は120億円(前年同期は営業利益117億3千3百万円)となりました。

不動産事業

不動産販売業では、前期の大型分譲マンション引渡しの反動などにより減収となりました。

不動産賃貸業では、品川駅周辺開発事業の進捗に伴い一部賃貸ビルにおいて店舗の営業が終了したほか、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う店舗休業等の影響を受け、賃料収入が減少したことなどにより減収となりました。

以上の結果、営業収益は141億2千4百万円(前年同期比54.0%減)、営業利益は14億2千5百万円(前年同期比68.0%減)となりました。

レジャー・サービス事業

ビジネスホテル業では、京急EXホテル・京急EXインは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う宿泊客の減少により減収となりました。

レジャー関連施設業では、京急開発(株)は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う休業要請を受け、一部施設において臨時休業したことなどにより減収となりました。

以上の結果、営業収益は95億2千4百万円(前年同期比51.5%減)、営業損失は24億3千9百万円(前年同期は営業利益37億5千4百万円)となりました。

流通事業

百貨店業では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休業および営業時間短縮の影響を受け、客数が減少したことなどにより減収となりました。

スーパーマーケット業では、内食需要の増加や新店開業の影響はあったものの、店舗の閉店や耐震補強工事に伴うテナント休業などにより、減収となりました。

コンビニエンスストア・物品販売業では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う鉄道の輸送人員の減少、臨時休業および営業時間短縮の影響を受け、駅ナカ店舗を中心に客数が減少したことなどにより減収となりました。

以上の結果、営業収益は416億5千9百万円(前年同期比17.7%減)、営業損失は1億6千2百万円(前年同期は営業利益13億5千6百万円)となりました。

その他

京急建設(株)は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う工期の延長などにより減収となりました。

以上の結果、営業収益は167億7千3百万円(前年同期比28.5%減)、営業利益は3億6千3百万円(前年同期比58.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を踏まえ、流動性資金確保のための借入等に伴う現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ199億3千6百万円増加しました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少はありましたが、有利子負債の増加などにより、前連結会計年度末と比べ411億9千1百万円増加しました。

また、純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上などにより、前連結会計年度末と比べ212億5千4百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期業績予想および配当予想について、第2四半期までの業績等を踏まえ見直しを行った結果、前回予想(2020年8月7日公表)を修正しておりますので、本日公表の「通期業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想に関するお知らせ」および「2021年3月期第2四半期 決算補足説明資料」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,555	60,917
受取手形及び売掛金	12,591	8,577
商品及び製品	2,532	2,451
分譲土地建物	41,016	46,235
仕掛品	799	1,773
原材料及び貯蔵品	331	344
その他	8,475	8,051
貸倒引当金	△123	△123
流動資産合計	101,179	128,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	336,260	329,736
機械装置及び運搬具(純額)	45,667	42,509
土地	186,411	188,717
建設仮勘定	84,915	85,164
その他(純額)	8,829	8,604
有形固定資産合計	662,085	654,732
無形固定資産	7,390	7,514
投資その他の資産		
投資有価証券	68,051	67,402
長期貸付金	689	597
繰延税金資産	6,506	6,637
退職給付に係る資産	19,192	19,926
その他	23,469	23,463
貸倒引当金	△153	△153
投資その他の資産合計	117,756	117,874
固定資産合計	787,232	780,121
資産合計	888,412	908,349

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,126	14,673
短期借入金	121,224	121,305
コマーシャル・ペーパー	—	20,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	3,602	961
前受金	7,996	11,856
賞与引当金	1,615	1,567
役員賞与引当金	104	—
災害損失引当金	290	—
その他の引当金	63	15
その他	31,622	31,277
流動負債合計	209,646	201,657
固定負債		
社債	110,000	125,000
長期借入金	203,511	238,781
繰延税金負債	6,622	438
役員退職慰労引当金	437	383
退職給付に係る負債	10,895	11,402
長期前受工事負担金	62,075	63,260
解体費用引当金	—	4,520
その他	17,566	16,503
固定負債合計	411,109	460,290
負債合計	620,756	661,947
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,738	43,738
資本剰余金	44,158	44,158
利益剰余金	172,144	151,641
自己株式	△660	△837
株主資本合計	259,381	238,702
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,906	8,658
為替換算調整勘定	135	3
退職給付に係る調整累計額	△1,779	△1,841
その他の包括利益累計額合計	7,261	6,820
非支配株主持分	1,012	879
純資産合計	267,655	246,401
負債純資産合計	888,412	908,349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業収益	165,241	103,014
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	124,567	98,380
販売費及び一般管理費	18,965	17,575
営業費合計	143,533	115,956
営業利益又は営業損失(△)	21,708	△12,941
営業外収益		
受取利息	34	44
受取配当金	451	403
持分法による投資利益	341	51
助成金収入	—	681
その他	250	434
営業外収益合計	1,077	1,615
営業外費用		
支払利息	2,083	2,071
その他	306	328
営業外費用合計	2,390	2,399
経常利益又は経常損失(△)	20,395	△13,726
特別利益		
災害損失引当金戻入額	—	290
工事負担金等受入額	234	264
固定資産売却益	129	105
その他	3	10
特別利益合計	367	670
特別損失		
減損損失	20	5,544
解体費用引当金繰入額	—	4,520
臨時休業による損失	—	311
固定資産圧縮損	234	264
投資有価証券評価損	—	147
支払補償費	15	59
固定資産除却損	456	34
その他	2	8
特別損失合計	729	10,890
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	20,032	△23,946
法人税、住民税及び事業税	6,229	563
法人税等調整額	78	△6,169
法人税等合計	6,307	△5,606
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,725	△18,340
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△25	△41
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	13,751	△18,299

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,725	△18,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△562	△247
為替換算調整勘定	24	△220
退職給付に係る調整額	△349	△61
その他の包括利益合計	△888	△529
四半期包括利益	12,837	△18,869
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,863	△18,740
非支配株主に係る四半期包括利益	△25	△129

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症の影響により、鉄道事業やバス事業における旅客輸送人員の減少、レジャー・サービス事業におけるビジネスホテルの稼働率低下、流通事業における施設の休業および時間短縮による収入の減少など、当社グループ全体の業績に大きな影響を与えております。今後の影響や収束時期などを予測することは困難であり、会計上の見積りを行う上で、特に将来キャッシュ・フローについて客観性のある情報に基づき予測を行うことは極めて困難であります。

このため、繰延税金資産の回収可能性や減損損失の判定などについては、翌連結会計年度第2四半期まで影響が継続するとの一定の仮定のもと、最善の見積りを会計処理に反映しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	62,979	27,258	17,039	50,121	7,842	165,241	—	165,241
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,007	3,420	2,577	503	15,611	23,120	△23,120	—
計	63,987	30,679	19,617	50,624	23,453	188,362	△23,120	165,241
セグメント利益	11,733	4,453	3,754	1,356	876	22,174	△466	21,708

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	36,352	11,491	7,915	40,708	6,545	103,014	—	103,014
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	897	2,632	1,608	950	10,228	16,317	△16,317	—
計	37,250	14,124	9,524	41,659	16,773	119,332	△16,317	103,014
セグメント利益又は損失(△)	△12,000	1,425	△2,439	△162	363	△12,814	△126	△12,941

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて3,109百万円、「レジャー・サービス事業」セグメントにおいて2,435百万円の減損損失をそれぞれ計上しております。